

(4) 損傷の状況(事故後の外観調査)

上関大橋 箱内部 A1-P1間 状況写真

1/4

新たな損傷は見られなかった。



⑫隔壁状況



⑬PC貫通孔状況



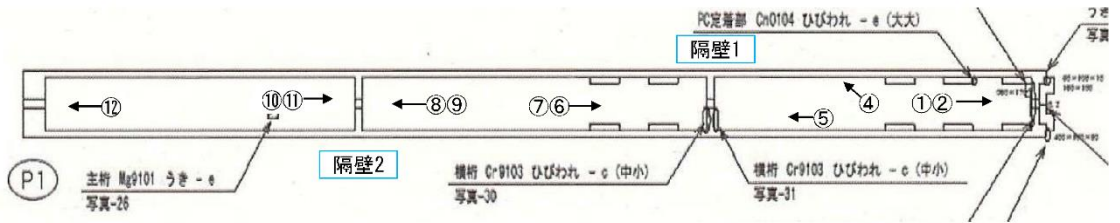
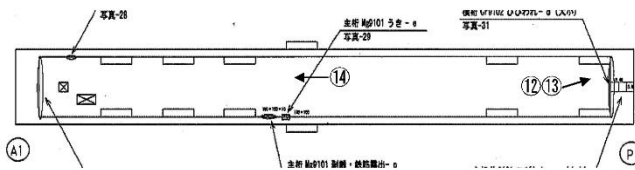
⑭内空状況



①隔壁状況



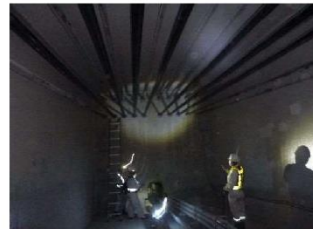
②PC貫通孔状況



⑫隔壁、PC貫通孔状況



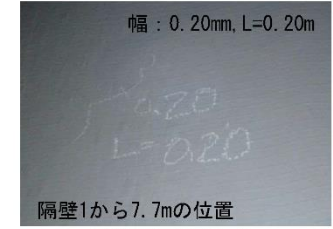
⑩隔壁、PC貫通孔状況



⑧隔壁周辺状況



⑥内空断面



④側壁 ひびわれ



⑪PC貫通孔状況



⑨PC貫通孔状況



⑦PC貫通孔状況



⑤上面状況

(4) 損傷の状況(事故後の外観調査)

新たな損傷は見られなかった。



⑥隔壁状況



⑦内空状況



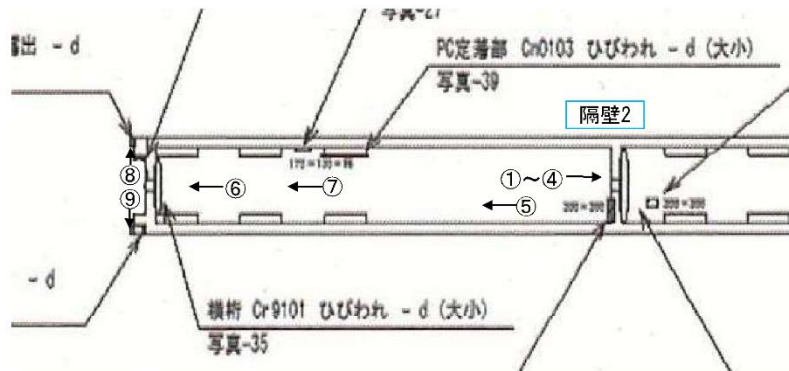
①隔壁状況



②PC貫通孔状況



⑧ヒンジ部状況



③PC貫通孔状況



④PC貫通孔、壁面状況



⑨ヒンジ部状況



⑤上面状況

(4) 損傷の状況(事故後の外観調査)

新たな損傷は見られなかった。



⑧隔壁1 PC貫通孔状況



⑨隔壁1 PC貫通孔状況



③PC貫通孔状況



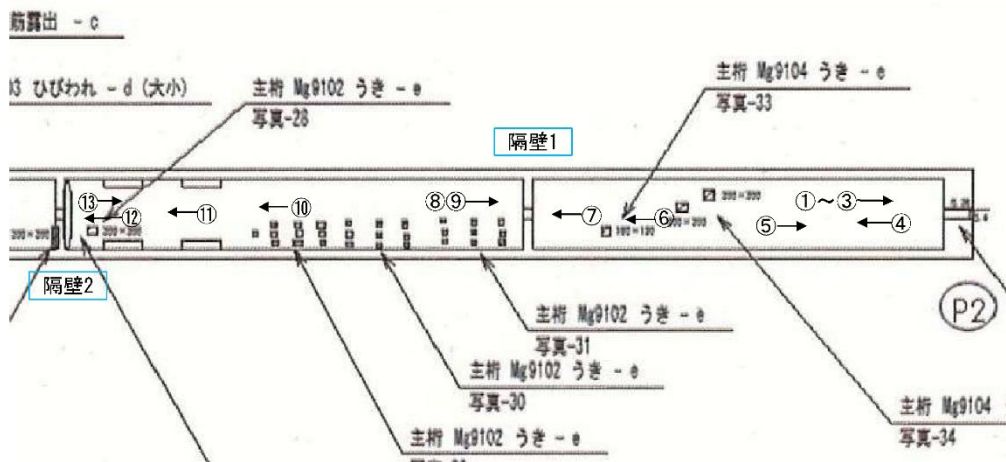
②PC貫通孔状況



①P2部隔壁状況



⑫隔壁2 壁面状況



④PC鋼材状況



⑤PC鋼材、内面状況



⑬ 内空状況



⑪ 内空状況



⑩ 内空状況



⑦隔壁1 壁面状況



⑥隔壁1 状況

(4) 損傷の状況(事故後の外観調査)

上関大橋 箱内部P2-A2間 状況写真

4/4

新たな損傷は見られなかった。



⑦P2部壁面状況



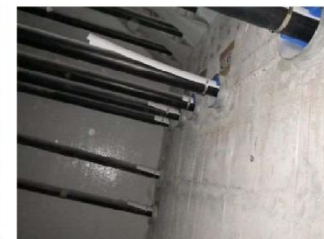
⑧PC鋼材状況



⑫PC鋼材状況



②PC貫通孔状況



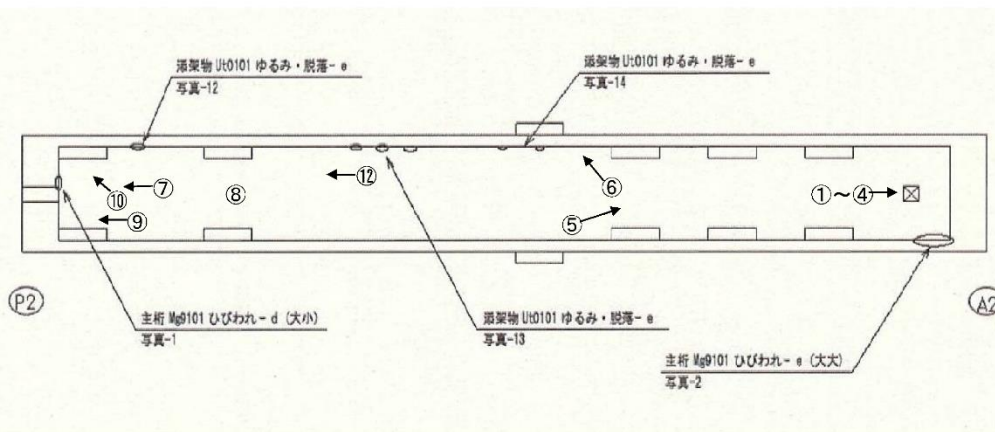
①A2部壁面状況



⑨PC貫通孔状況



⑩P2側面 PC定着部



③PC貫通孔状況



④PC貫通孔周辺状況



PC鋼材及び上面の状況



内面状況

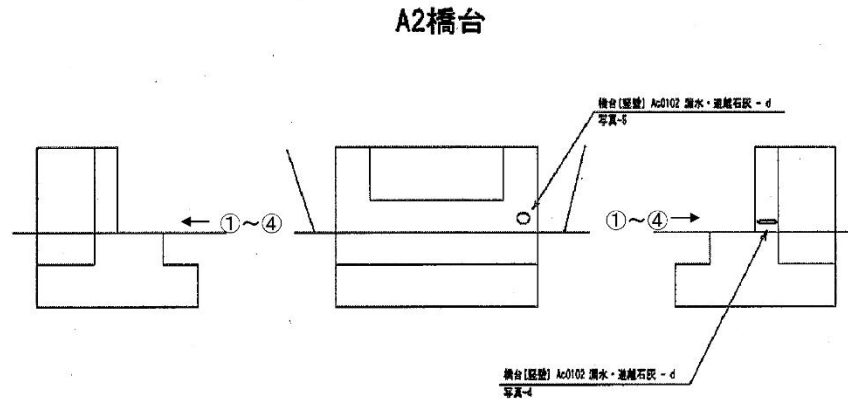


⑥PC定着部、側面状況



⑤PC鋼材、上面状況

(4) 損傷の状況(事故後の外観調査)



④ 橋座部状況



③ 橋座部状況



② 橋座部状況



① 橋座部状況

(4) 損傷の状況(事故後の外観調査)

上関大橋 中央ヒンジ部 状況写真

1/1



① ヒンジ部 遊間



② ヒンジ部 遊間



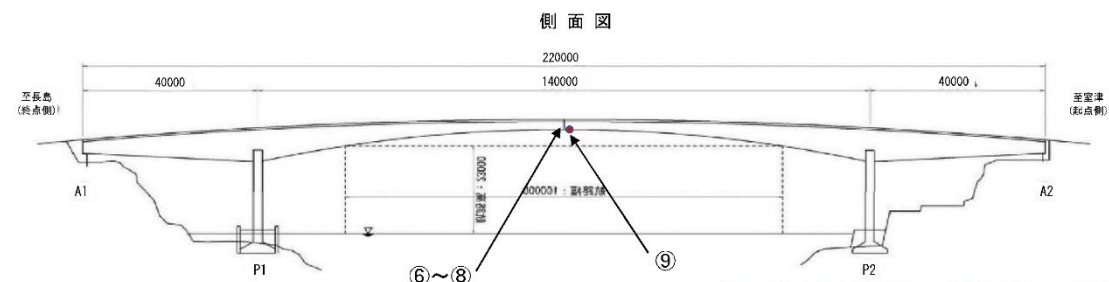
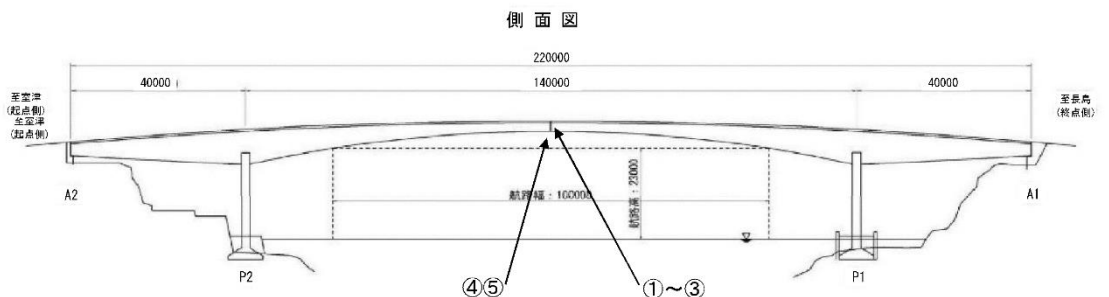
③ ヒンジ部 全景



柳井← →上関
④ ヒンジ部 全景



⑤ 底面状況



⑥ ヒンジ部 遊間



⑦ ヒンジ部 遊間



⑧ ヒンジ部 全景



⑨ はく離

調査日:2020年11月18日

(4) 損傷の状況(事故後の外観調査)

P1

上関大橋



写真-3



写真-1

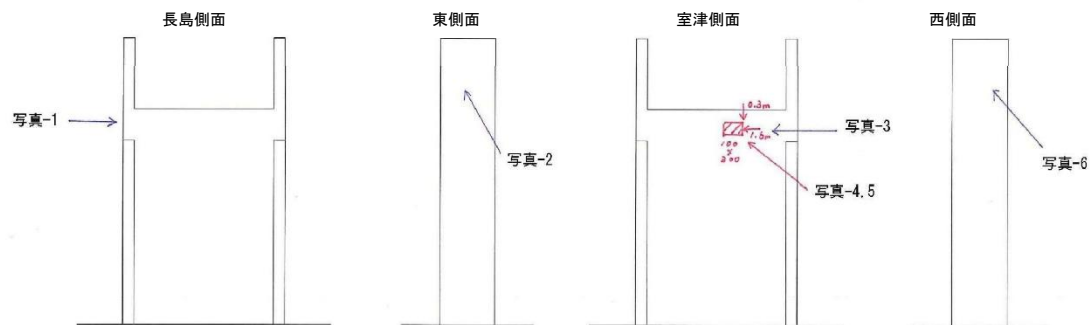


写真-6



写真-2



写真-4



写真-5

(4) 損傷の状況(事故後の外観調査)

上関大橋 P2橋脚 損傷状況写真

2/2



写真-10



写真-15



写真-16



写真-19



写真-22~25



写真-30~31



写真-32~33



写真-11

P2



写真-17



写真-18

上関大橋



写真-12



写真-13



写真-14

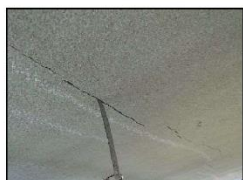


写真-20



写真-21



写真-29

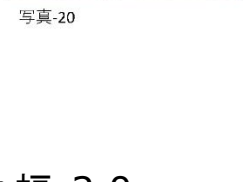
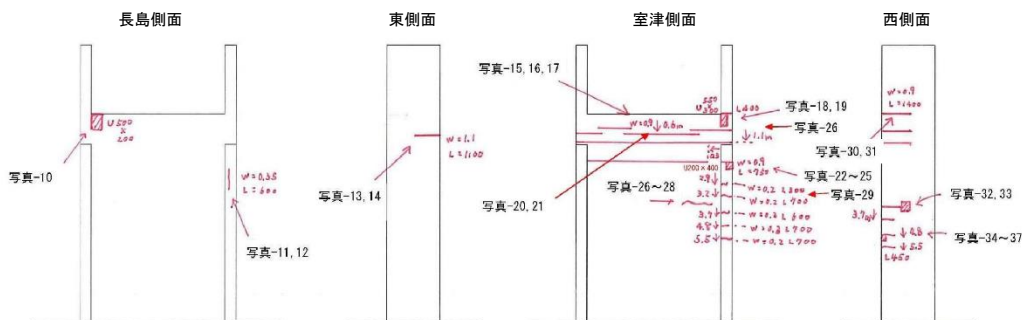


写真-26~28

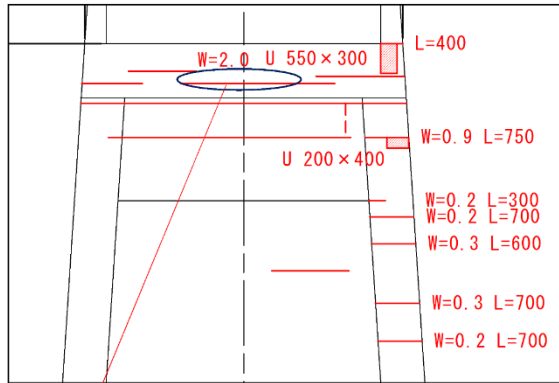


写真-34~37

※最大ひびわれ幅: 2.0mm

(4) 損傷の状況 (事故後の外観調査)

上関大橋 P2橋脚 損傷状況写真(拡大)

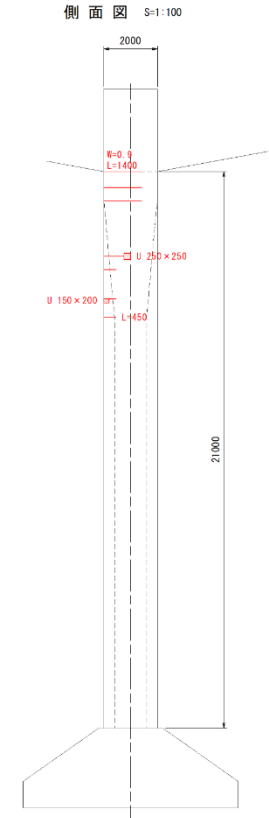
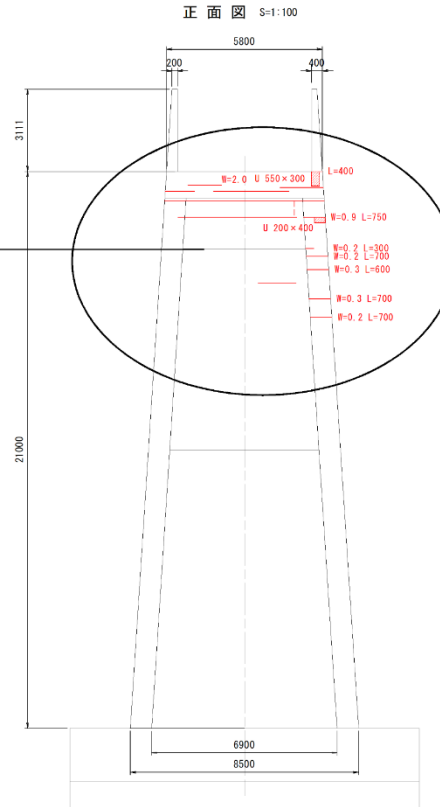


拡大



最大ひび割れ幅: 2mm

拡大



単位:mm

(4) 損傷の状況 (ヒンジ部の亀裂調査)

検査報告書		報告書番号
INSPECTION REPORT		REPORT No.
顧客工番 JOB No.	工事名称 JOB TITLE	(仮)上関大橋非破壊検査
検査対象及び概要 ITEM NAME AND OUTLINE		
名称 NAME	中央ヒンジ部(鋼製)	
製作仕様 FABRICATION SPEC.		
材質 MATERIAL	炭素鋼	
形状及び寸法 SHAPE AND SIZE	下記参照	
非破壊試験種目 NDE METHOD	試験日 EXAM. TERM	
1.超音波探傷試験(UT)	2020年11月18日	
2.磁粉探傷試験(MT)		
試験箇所 EXAMINATION PART		
1.超音波探傷試験(UT) 東側ヒンジ部		
2.磁粉探傷試験(MT) 西側ヒンジ部		
試験場所 EXAM. PLACE	上関大橋	顧客担当者 CUSTOMER'S ATTENDANT
試験目的 AIM OF EXAM.	設備診断	
試験時期 EXAM. STAGE	現地調査時	
総合評価 EVALUATION		試験技術者 EXAMINER
超音波探傷試験において、きずによるエコーは検出しなかった。		氏名 NAME
磁粉探傷試験において、西側ヒンジ部に表面の形状不良による0.5の線状磁粉模様を検出した。東側ヒンジ部はきずによる磁粉模様を検出しなかった。		資格 LICENSE
		JISNDI-UT L2 N10072958
		JISNDI-UT L2 N10324392
		JISNDI-MT L2 N10057491
		JISNDI-MT L2 N10301708
		部門 DEPARTMENT
承認者 APPROVED	確認者 REVIEWED	施行責任者 EXAMINED

T4J040-02A

検査報告書		報告書番号
INSPECTION REPORT		REPORT No.
2.磁粉探傷試験(MT)		
東側ヒンジ部		
西側ヒンジ部		

T4J040-06A

写真記録		報告書番号
PHOTOGRAPHIC RECORDING		REPORT No.
MT試験状況		
		PHOTO No. 1
東側ヒンジ部		MT状況
きずによる磁粉模様認めず		
		PHOTO No. 2
西側ヒンジ部		MT状況
表面の形状不良による0.5の線状磁粉模様を認める		
		PHOTO No. 3
西側ヒンジ部		PHOTO No. 2 ○拡大

T4J040-06A